

臨床心理学専攻

再生紙を使用しています。

対象課程		科目名		単 位	科目コード	開講時期	授業科目区分		
修士課程		高齢者心理学特論		2	8944-01	秋学期	関係科目		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メール I D			オフィスアワー		
キーワード		授業科目の学習目標							
1	高齢者	臨床現場で出会う高齢者の心理的諸課題（高齢者の身体的、精神的、心理学的、社会的側面等）を取りあげる。受講者が高齢期の心理学的特徴、高齢者との対人関係を深める方法、介護者である家族との関わり方など、臨床心理士になるにあたり学んでおくべきテーマについて、集団討議・発表、体験学習など演習的方法を取り入れながら理解を深めていく。							
2	生涯発達								
3	支援								
4	連携								
授業の概要および学習上の助言									
<p>講義内容は、大きく2つの領域に分かれる。第1部では高齢期の諸課題として身体・精神機能の特徴、高齢期に特有と考えられる老いの受容と間近に迫りくる死との対面、そして高齢期における生きがいという現在の高齢化社会において大きく取り上げられている話題を考察する。第2部では、高齢期の特徴を把握する道具としての心理査定と支援方法としての心理療法を知り、個々の高齢者を理解し支援するための視点を学習する。具体的な心理査定の道具として取り上げるのは、Mini-Mental State Examination(MMSE)、改訂長谷川式簡易知能検査(HDS-R)、Neurobehavioral Cognitive Status Examination(COGNISTAT) ウエクスラー成人知能検査第3版(WAIS-)、ベントン視覚記銘力検査、コース立方体検査等を紹介する。具体的な心理療法としては、回想法、家族療法・ブリーフセラピー、臨床動作法を中心に上げ、音楽療法、コラージュ療法、行動療法についても触れる。また臨床心理士になったという想定で高齢者にとってどのような支援方法によってどんな支援を経験するのかを考える機会となるように、模擬面接を交えた体験学習形式の演習に参加する。最後に高齢者を取り巻く支援体制についても知る。</p>									
教科書および参考書									
教科書：曾我昌祺・日下菜穂子編 高齢者のこころのケア 金剛出版 ISBN4-7724-0912-2〔2006〕									
参考書：東京都老人総合研究所編 サクセスフルエイジング ワールドプランニング ISBN4-948742-28-7〔1998〕									
黒川由紀子編 老いの臨床心理 高齢者のこころのケアのために 日本評論社 ISBN4-535-56081-1〔1998〕									
J.J.ヘル・J.H.ウィークランド 老人と家族のカウンセリング 金剛出版 ISBN4-7724-0517-8〔1996〕など									
履修に必要な予備知識や技能、および一般的注意									
発達心理学に関する予備知識があると理解が促されるであろう。 マイクロカウンセリングによる面接技法を習得できていることが望ましい。									
学生が達成すべき行動目標									
高齢期にみられる身体的・精神的・心理学的・社会的な特徴を文章で説明できる。									
高齢者に対する臨床心理学的支援方法を文章で説明できる。									
高齢者に対する臨床心理学的支援の方針を立てることができる。									
高齢者に対する心理査定について文章で説明できる。									
高齢者を取り巻く福祉・行政的施策について文章で説明できる。									
達成度評価方法（総合評価割合）									
	試 験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作 品	ポートフォリオ	その他	合 計	
配点	0	40	60	0	0	0	0	100	

授 業 計 画

第1週

- (1) オリエンテーション - 高齢者に対するイメージ
- (2) 発達心理学のおさらい - エリク・エリクソンの理論を中心に

第2週

- (1) 高齢期における身体・精神機能の特徴 - 健康概念の変遷を含めて
- (2) 老いと死について - spiritualの観点も含めて

第3週

- (1) 高齢期における心理学的な特徴の概説
- (2) 高齢期における心理学的な特徴 - 生きがい

第4週

- (1) 高齢者の心理査定 of 概説
- (2) 高齢者の心理査定 of 実際

第5週

- (1) 高齢者に対する心理療法の概説 - その1
- (2) 高齢者に対する心理療法の概説 - その2

第6週

- (1) 高齢者に対する心理療法を事例から学ぶ - 回想法
- (2) 回想法を体験する

第7週

- (1) 高齢者に対する心理療法を事例から学ぶ - 家族療法・ブリーフセラピー
- (2) 家族療法・ブリーフセラピーを体験する

第8週

- (1) 高齢者に対する心理療法を事例から学ぶ - 臨床動作法
- (2) 臨床動作法を体験する(ズボンなどの動きやすい服装で受講すること)

第9週

- (1) 高齢者を取り巻く支援体制の概説
- (2) 精神科病院、老人保健施設、福祉行政サービスの取り組み

第10週

- (1) まとめ
- (2) まとめ

達成レベルの目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
<p>高齢者の特徴を身体面、精神面、心理面、社会面といった多面的な観点から文章で記述できること。その特徴を把握するための査定から支援計画を立てることができ、具体的な支援方法について記述し、予想される事象が複数記述できること</p>	<p>高齢者の特徴を身体面、精神面、心理面、社会面といった側面から文章で記述できること。その特徴を把握するための査定と支援方法について記述できること</p>